



GUNBOH

群 萌

第188号 2017年1月27日

発行所 全国化学労働組合総連合

〒105-0021 東京都港区東新橋2-16-1
ルースビル402

TEL 03 (6452) 8806

FAX 03 (6452) 8807

発行責任者 寺前 敦司

編集者 化学総連事務局

gs03@kagaku-s.com

～真にプロフェッショナルな、 選ばれ続ける産別組織を目指して～

全国化学労働組合総連合 会長 寺前 敦司

新年明けましておめでとうございます。日頃より、化学総連の諸活動に対して力強いご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、連続プラントの運転等で年末年始も業務に当たられました皆様方には、あらためて感謝と敬意を申し上げます。

2016年は様々な社会の変化の兆しを感じた年であったと思います。移民・難民の流入や自由貿易に反対する流れが擡頭し、イギリス国民投票でのEU離脱派の勝利、米大統領選でのドナルド・トランプ氏の勝利へとつながりました。我が国においても、今上天皇が生前退位問題に対してのお気持ちをビデオメッセージで放送されたことや、伊勢志摩サミットに出席したオバマ大統領の現職初となる広島訪問、安倍首相も現職初となる真珠湾アリゾナ記念館での慰霊式典出席、さらには山口県長門市で開催された日露首脳会談など、今後の歴史の起点となるような出来事が多くみられました。

文化面ではイチロー選手による日米通算4257本安打とメジャー通算3000本安打の達成、南米初となったリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍、建築家ル・コルビュジエの作品の一つである国立西洋美術館の世界文化遺産への登録などが大きな話題となりました。また科学技術の分野では113番元素が日本に由来する「ニホニウム(元素記号:Nh)」となることが確定しただけでなく、年末には大隅良典東京工業大学栄誉教授にノーベル生理学・医学賞が授与されるなど、あらためて日本の実力が世界に認められました。一方で、4月に発生した熊本地震、年末の糸魚川市大規模火災、さらには戦後最悪の殺傷事件が相模原障害者施設で発生するなど、非常に悲しい出来事にも見舞われました。

そのような一年間に別れを告げて始まった2017年は、不確実性の高い年とされています。米国の新政権誕生、欧州での選挙結果の行方、英国離脱交渉の推移、中東・東南アジアにおける地政学的リスクにはとりわけ注視が必要だと考えます。

さて化学総連は2016年9月の定期大会より新たに定めた4つの委員会・研究会と地連連携を軸とした活動をスタートしました。環境安全委員会では安全担当者会議(12月13日)と講演会(1月12日、1月18日)、エネルギー税制委員会では土壤汚染対策法に関するパブリックコメント(11月18日)、新しい働き方研究会では男女雇用機会均等法に関するパブリックコメント(1月17日)、人と技術の未来研究会では技術士制度に関するパブリックコメント(12月12日)と講演会(1月13日)を実施してきました。さらに最近の話題である同一労働同一賃金については、国会議員や厚生労働省との意見交換も予定しています。また地連連携としては1月末の時点で10か所の会合に地連担当役員が出席し、当該地域での課題を伺うとともに、その他の地域での状況を情報提供することで、地連も含めた化学総連が一体となって課題を解決していくような取り組みを進めています。このような活動を通じて、これからも化学総連に集う組合員はもちろんのこと、化学産業界や社会の皆様から高い評価を得られるように、真にプロフェッショナルな組織を目指してまいりますので、従前に増してのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、2017年が皆様にとって、安全で幸多からんことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



2016年度実施 コミュニケーションアンケート結果報告

化学総連では2013年度から2014年度にかけて実施した安全アンケートの結果から、職場の安全とコミュニケーションには相関のあることが示唆されました。そこで2016年度の活動では、職場におけるコミュニケーションの実態を把握し、より安全で働きやすい環境の実現に繋げるため、個人や職場がどのような取り組みを進めることが有効なのかを目的とし、化学総連加盟単組及び関連企業労組を対象に2016年2月から6月にかけてマークシート方式にて調査を行いました。

回答者の基礎データ

● 回答数

回収件数	45,473件
有効回答	39,845件
有効回答率※1	87.6%

※1：所属等基本情報の不備、および設問回答80%以下のデータを除く

● 年齢構成

20歳未満	1.0%
20～29歳	24.7%
30～39歳	28.1%
40～49歳	30.8%
50～59歳	14.6%
60歳以上	0.8%

● 現職経験年数

1年未満	7.8%
1年～3年未満	15.8%
3年～5年未満	15.4%
5年～10年未満	25.3%
10年～15年未満	11.9%
15年～20年未満	7.8%
20年～25年未満	7.2%
25年以上	8.9%

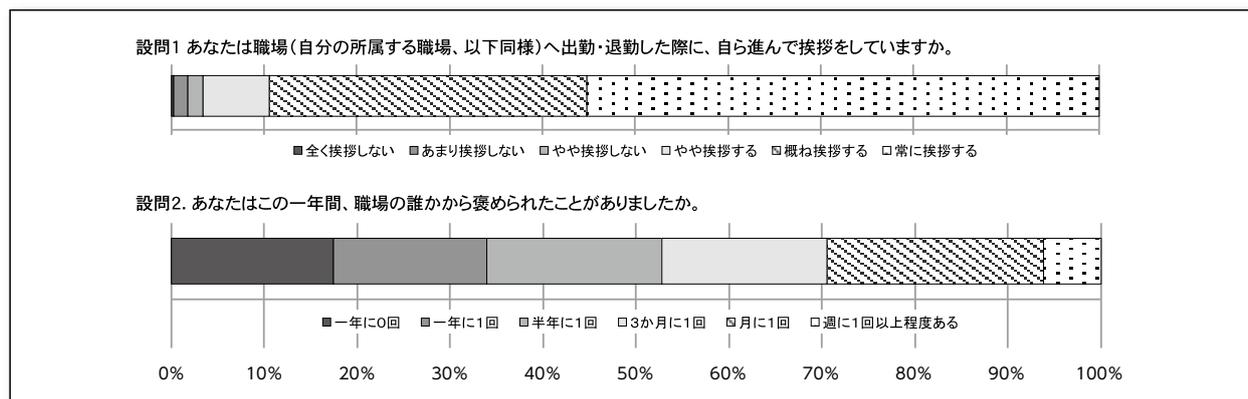
● 職種

製造	40.3%
製造補佐	11.3%
技術	23.3%
その他	24.6%

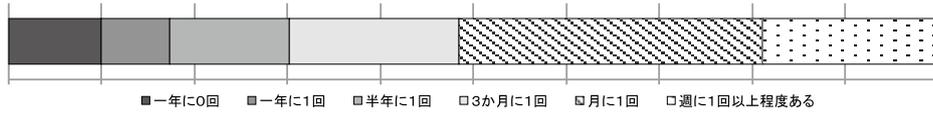
● 勤務形態

常日勤	66.8%
交代勤務	33.2%

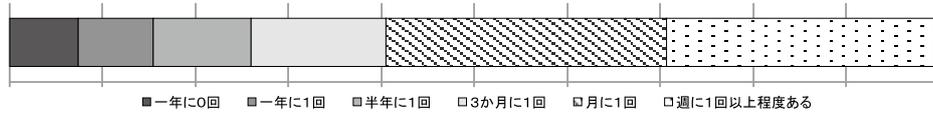
設問毎の選択状況



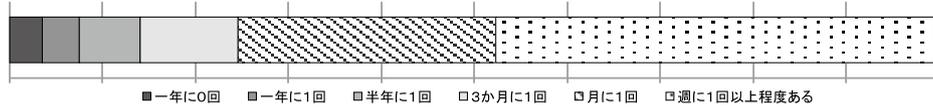
設問3 あなたはこの一年間、職場の誰かを褒めたことがありますか。



設問4 あなたはこの一年間、職場の誰かから感謝の気持ち(ありがとう等)を受けたことがありますか。



設問5 あなたはこの一年間、職場で感謝の気持ち(ありがとう等)を伝えたことがありますか。



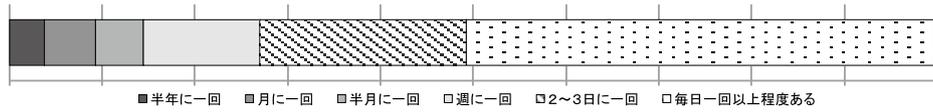
設問6 あなたはこの一年間、職場の誰かから、あなたのミスや不注意に対して指導されたことがありますか。



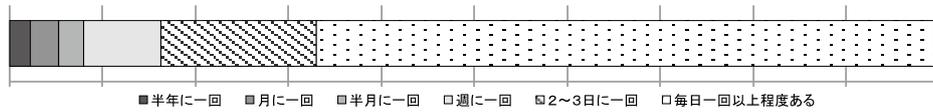
設問7 あなたはこの一年間、職場の誰かのミスや不注意に対して指導したことがありますか。



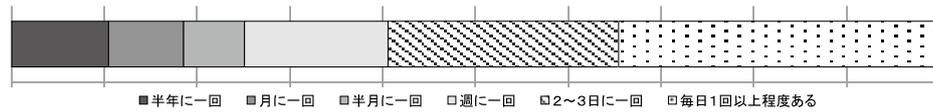
設問8 あなたは職場で上司(あなたの直属の上司、以下同様)、仕事に関連した会話をどの程度しますか。



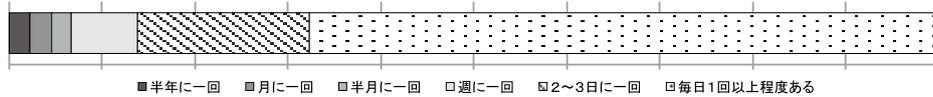
設問9 あなたは職場で上司以外の方と、仕事に関連した会話をどの程度しますか。



設問10 あなたは職場で上司と、仕事とは直接関係のない会話(雑談)をどの程度していますか。



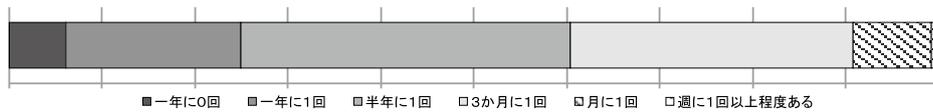
設問11 あなたは職場で上司以外の方と、仕事とは直接関係のない会話(雑談)をどの程度しますか。



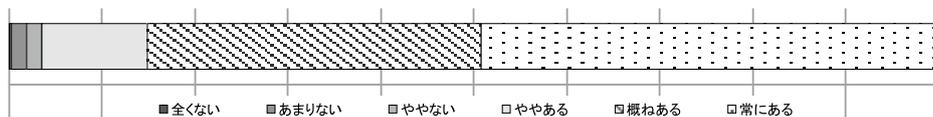
設問12 あなたの職場では、出勤・退勤時に挨拶が交わされていますか。



設問13 あなたの職場では、宴会・レクリエーション・旅行などを行うために職場以外の場所で一堂に会することがあります。

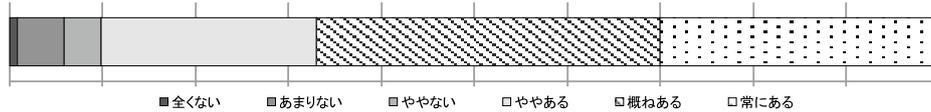


設問14 あなたの職場では、仕事に関連した会話がどの程度ありますか。

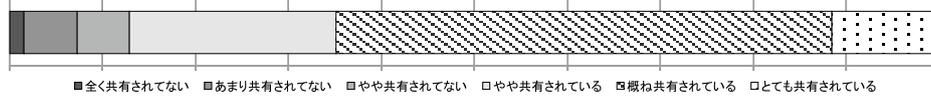


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

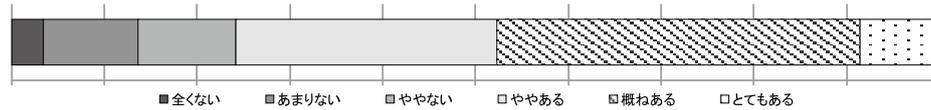
設問15 あなたの職場では、仕事とは直接関係のない会話(雑談)がどの程度ありますか。



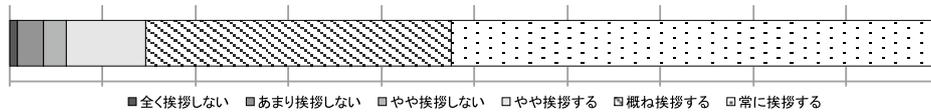
設問16 あなたの職場では、職場の目標が共有されていますか。



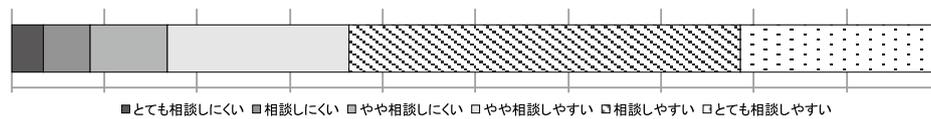
設問17 あなたの職場には、チームとしての一体感がありますか。



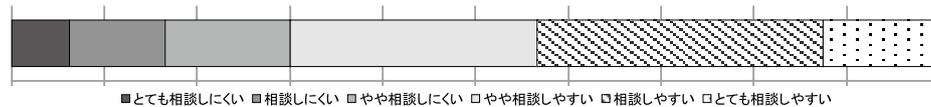
設問18 あなたの上司は、職場へ出勤・退勤した際に挨拶をしていますか。



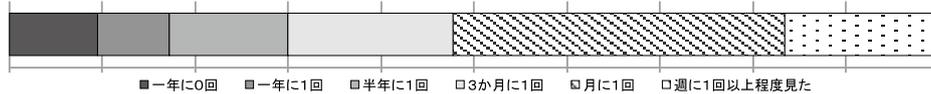
設問19 あなたの上司は、仕事のことで相談しやすい方ですか。



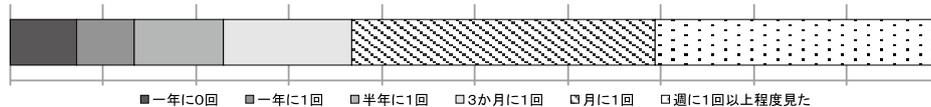
設問20 あなたの上司は、仕事以外のことで相談しやすい方ですか。



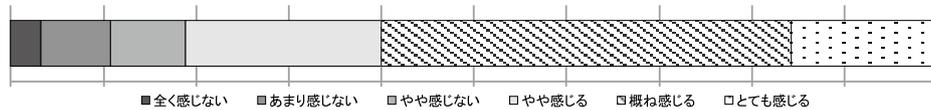
設問21 あなたの上司がこの一年間で、職場の誰かを褒めているのを見ましたか。



設問22 あなたの上司がこの一年間で、職場の誰かに感謝の気持ち(ありがとう等)を伝えているのを見ましたか。



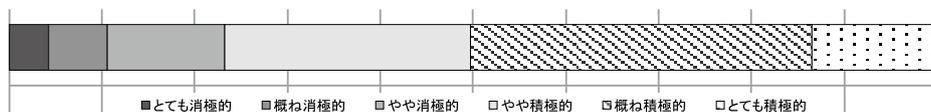
設問23 あなたの上司は、部下のミスや不注意を適切に指導していると感じますか。



設問24 あなたは、上司との面接や面談などが充実していると感じますか。



設問25 あなたの上司は、部下の指導や成長に対して積極的に取り組む方ですか。

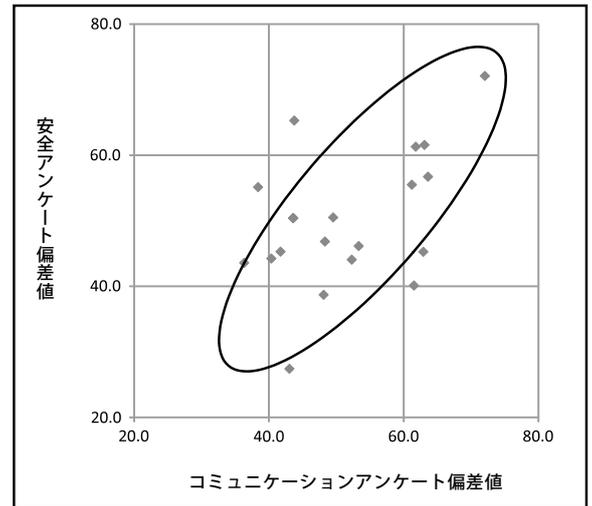


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

1

安全アンケートとコミュニケーションアンケートの相関について

右図は各単組の安全アンケートとコミュニケーションアンケートの偏差値をグラフ化したものです。結果、強い相関は確認されなかったものの安全とコミュニケーションの間には、一定の傾向があると感じられる結果が得られました。



2

職場におけるコミュニケーションの向上に向けて

安全意識向上には職場でのコミュニケーションが重要と考え、職場におけるコミュニケーションの指標として今回のアンケートの設問から「職場の目標共有(問16)」・「一体感(問17)」をポイントとして各設問との関係性を分析し、効果的な行動改善について抽出しました。

「職場の目標共有」では、①上司との雑談、②職

場でのレクリエーション、③上司による職場の雰囲気づくり(褒める、感謝、面談、指導)が重要であるという結果が得られました。

また「一体感」では、①職場で褒めあえる環境、②相手から感謝の気持ちを受けられる環境、③職場でのレクリエーションが一体感醸成に効果的、の3点が挙げられました。

3

考察

「職場の目標共有」・「一体感醸成」のためには面談や面接、指導などといった業務上必要な上司と部下の接点の在り方が重要と考えられます。また、業務以外でもレクリエーションを通じた上司と部下の交流や雑談ができる雰囲気づくりも効果があると考えられます。上記2点に加え、目に見えた形での気持ち(感謝・気遣い)を表現することも積極的に取り入れていくことで、より良い関係構築に繋がるものと考えられます。

私たちの活動は一人では成し得ません。働く仲間が意見をぶつけ合い、そして助け合い、進むべき方向に向かって切磋琢磨することで良い組織、ひいては良い社会に繋がることと考えます。

さいごに今回の報告は化学総連全体での分析・考察した内容となり、各単組の結果は様々です。今後の安全意識・コミュニケーション向上のため、アンケート結果が加盟各単組にて活動の展開の一助に寄与出来れば幸いです。



化学総連活動報告

第84回調査担当者会議

日 時：2016年11月7日(月)～8日(火)

場 所：昭和電工株式会社 川崎事業所
化学総連事務所

出席人数：24名

内 容：工場見学

調査担当者会議の位置づけと役割について

事例発表



第36回支部役員研修会

日 時：2016年11月30日(水)～
12月1日(木)

場 所：東京セキスイハイム工業株式会社
浦和ワシントンホテル

出席人数：48名

内 容：工場見学

基調講演：化学総連の活動について

分科会：各支部での取り組みについて



第37回支部役員研修会

日 時：2016年12月6日(火)～
12月7日(水)

場 所：近畿セキスイハイム工業
株式会社

奈良パークホテル

出席人数：55名

内 容：工場見学

基調講演：化学総連の活動について

分科会：各支部での取り組みについて



第8回安全担当者会議

日 時：2016年12月13日(火)～
12月14日(水)

場 所：株式会社カネカ 高砂工業所
西はりま地場産業センター

出席人数：32名

内 容：株式会社カネカ及び高砂工業
所の安全の取り組みについて

工場見学

事例発表

分科会：各単組の安全活動について



第40回幹部研修会

日 時：2017年1月12日(木)～1月13日(金)

場 所：オリエンタルホテル広島

出席人数：96名

内 容：特別講演

『設備安全管理の高度化、
人材育成について』

岡山大学大学院 自然科学研究科
教授 鈴木 和彦 氏



『プラチナ社会と化学産業』

三菱総合研究所理事長
プラチナ構想ネットワーク
会長 小宮山 宏 氏



基調講演

『2017春季生活闘争と化学総連の
今後について』

化学総連 寺前 敦司 会長

